

中部フィルハーモニー交響楽団 コンプライアンス行動指針

中部フィルハーモニー交響楽団は「音楽芸術文化の振興と向上」を図ることを目的とし、小牧市を拠点に中部地方を中心とした「地域に根差したトップクラスのオーケストラ」をスローガンとして設立されたプロオーケストラであり、高い倫理観、順法精神に裏付けられた責任ある行動と、音楽という社会的価値の創造・発展を通して、地元行政・企業・個人に信用される楽団であることが求められる。そこで以下のコンプライアンス行動指針を定め、楽団員・事務局員・楽団理事は、これを順守し、日々の活動の中で徹底することとする。

(お客様への姿勢と持続可能な演奏活動の実現)

1. 社会に上質な音楽を継続的に提供し、観客の満足と信頼を獲得する。またその事業活動を通じて、定期顧客のみならず、幅広く社会の様々な層に演奏活動を届け、オーケストラ音楽の振興を図るとともに、持続可能な楽団経営を図る。

(公正な事業慣行)

2. 公正、透明、自由な競争ならびに適正で責任ある取引を行う。法令、ルールを遵守し、政治、行政との健全かつ正常な関係を保つ。そのため、認定 NPO 法人として定められた活動範囲を遵守すること。また個人・企業との取引において事前に取引内容・拘束時間・依頼金額・支払い条件・キャンセル条項・登録番号等を明確に書面にて取り交わすこと。さらに不正・不当な要求、不公正な取引の誘い、反社会的勢力との取引は毅然とした態度で断る。

(公私混同のけじめ)

3. 自分や親せき・友人等の個人的な利益を図るために楽団と取引すること、楽団ではなく競合もしくは取引先の利益を優先させるような利益相反行為や協業行為を行わない。

(ステークホルダーとの対話、情報開示、情報管理)

4. 楽団情報を積極的、効果的かつ公正に開示し、幅広いステークホルダーとのコミュニケーションを継続的に行い、楽団の社会的価値の向上を図る。また、個人情報・顧客情報をはじめとする各種情報の保護・管理を徹底し、未公開情報の外部漏洩を防ぐ。加えて近年盛んになってきた SNS 等による情報発信は一層充実させていかなければならないが、一方で観客を含めたプライバシーの侵害や、無意識であるにしても個人・団体に対する中傷誹謗・揶揄と受け止められる表現を発信しない。

(人権の尊重)

5. 楽団活動に係わるすべての人々の人権と多様性を尊重する。楽団員・事務局員・楽団理事はお互いの人権・人格を尊重し、国籍・人種・性別・年齢・学歴・宗教・信条・社会的身分・性自認・性的指向・障害の有無を理由とする差別やハラスメント等の人権侵害行為を許さない。

(働きがいのある楽団活動づくり)

6. 楽団員・事務局員はお互いの人権・人格・多様性を尊重し、働きやすい職場を実現する。

また、楽団は健康と安全に配慮した働きやすい職場環境を整備する。

(社会貢献)

7. 「良き社会の構成員」として積極的に社会に参画し、災害被災地へのボランティア演奏・街角コンサート・社会福祉施設での演奏活動などを通して包摂的社会の発展に貢献する。

(リスク管理と危機管理)

8. 事業活動において起こり得る可能性があるリスクを想定し、未然に防止もしくはリスクが顕在化した場合の損害を最小限に抑える。自然災害はもとより、サイバー攻撃やテロ等に備え、組織的な危機管理対策を準備する。